

太田市議会

議長 高田 靖 様

令和 7 年 2 月 26 日(水)

公明党代表 星野 一広

会派行政視察報告書

1、期間

令和 7 年 1 月 27 日(月)～1 月 29 日(水)までの 3 日間

2、視察先及び視察事項

(1)1 月 27 日(月)

富山県富山市「富山市まちなか総合ケアセンターについて」

(2)1 月 28 日(火)

石川県小松市「フレイル予防について」

(3)1 月 29 日(水)

福井県福井市「重層的支援体制整備事業について」

3、視察参加者

星野 一広 高橋 えみ

前田 純也 谷之木 勇作

4、視察概要

別紙参照

(1) 富山市概要

面積	1241.70 m ²
推計人口	403,223 人(2025 年 1 月 1 日)
議員定数	38人
政務活動費	150,000 円を4半期毎に支給

○ 富山市まちなか総合ケアセンターについて

目的

全国的にも少子高齢化社会が進み、乳幼児から高齢者・障がい者などに対する施策の重要性は私たち太田市においても重要なことと考えており、コンパクトシティの推進も考慮しながら、まちなかに総合的なケアセンターを設置された富山市まちなか総合ケアセンターは今後の施策展開に重要であると考え視察を行なった。

視察概要について

富山市まちなか総合ケアセンターは子育て支援や在宅医療、地域コミュニティ(ソーシャルキャピタル)の醸成を推進するための事業を展開されており、乳幼児から高齢者、障がい者を含むすべての地域住民が安心して穏やかに生活できる健康まちづくりを推進されていました。

今回、病児保育事業やお迎え型病児保育事業を行なっている病児保育室、産後ケア応援室では産後のおかあさんの不安や負担を少しでも癒せるために、直営でホテルのような環境を提供され産後のママのケアを行なっている状況、365 日24H 医師が稼働され、在宅診療を推進されている「まちなか診療所」などを視察させていた

だき、総合ケアセンター全体の推進されている各施策を充実を推進されている状況を学ばせて頂きました。

○ 所感等

福祉の充実と言っても、本市においてきめ細やかな施策展開において今回の富山市総合ケアセンターの取り組みは、市の中心施策として推進されている状況やきめ細やかな事業内容、市職員の配置状況にしても大変興味深いものがありました。太田市においても子育て支援、高齢者・障がい者に対しての更なる充実を考えていかななくてはならないと感じました。

視察状況 写真



(2) 小松市概要

面積 371.05 km²

人口 106,216 人

条例定数 22 人

政務活動費 一人当たり月額 70,000円を四半期ごとに支給

○ 小松市『フレイル予防について』

目的

高齢化が進む中で、健康寿命の延伸は重要な課題である。フレイル予防に関する包括的な取り組みを学び、地域の健康施策の参考にするため。

視察概要について

1. フレイル測定会を開催

- 。小松市は、65歳以上の要介護認定を受けていない高齢者を対象に、フレイル測定会を開催している。この測定会では、簡単なアンケートや身体・体力測定を行い、結果に基づいたアドバイスを提供している。特に、リハビリテーション専門職を配置した高齢者総合相談センターが中心となり、介護予防・重症化予防、リハビリテーション支援などを推進している。

2. 成果協力型委託契約(PFS)の導入

- 。小松市は、フレイル予防運動プログラム事業において、成果調和型民間委託契約方式(PFS)を採用し、この方式では、事業者の創意工夫を重視し、事業目的の達成に最適な事業者を選定している。具体的には、男性前期高齢者の参加割合や体力測定結果の改善率など、明確な成果指標を設定し、その達成度に応じて評価を行う事業に応じた評価制度を採用し、効果的なフレイル予防を推進している。

3. 地域サロンの活性化を支援

- 。フレイル予防機能強化型高齢者総合相談センターは、地域のサロン活動を支援。具体的には、サロンへの訪問やフレイルチェック、意見交換、研修会の実施など、地域住民の主体的な健康づくりをサポートしている。

○ 所感等

小松市のフレイル予防は、単なる啓発活動にとどまらず、実際に市民が自身の健康状態を把握し、具体的な予防行動を取れるような仕組みが整っている。フレイル測定会を定期的に開催することで、高齢者が自分の身体の変化を知る機会を提供しており、これはフレイルの早期発見・早期対応につながる重要な取り組みであると感じた。

特に、測定結果に基づいた個別アドバイスやミニ講座の実施は、単なる健康診断とは異なり、高齢者の行動変容を促す点で大変有意義だと感じた。

また、「フレイル予防機能強化型高齢者総合相談センター」にリハビリテーション専門職を配置した点は、非常に評価できる。フレイルの予防や改善には、適切な運動指導や生活習慣の改善が不可欠であり、専門職が継続的に関わることで、その効果が高まると感じた。特に、介護予防や重症化予防の観点からも、リハビリ専門職が個別対応できる環境は健康寿命に寄与する大事な取り組みと感じた。

小松市のフレイル予防は、単なる健康施策ではなく、地域包括ケアシステムの一環として機能しており、高齢者が自立した生活を維持できるよう支援するモデルケースとして、とても参考になった。



(3) 福井市概要

面積	536.41 km ²
推計人口	107,583 人 令和 6 年 4 月 1 日現在
議員定数	32 人 (現員数 31 人)
政務活動費	月額 150,000 円(会派と個人に分けて四半期ごとに交付)

○ 重層的支援体制整備事業について

目的

令和 3 年の社会福祉法改正に伴い、本市においても令和 4 年度から重層的支援体制整備事業を実施してきているところであるが、包括的相談支援、参加支援、地域づくりやアウトリーチなど、それぞれに課題があることから、本事業を先進的に推進してきている福井市の、特に「福祉総合相談室よりそい」の取組について学ぶことにより、本市の課題解決に向けての参考にすることを目的に、行政視察を実施することになった。

概要について

令和 6 年 3 月 16 日に北陸新幹線福井駅の開業に伴い、駅周辺の整備が進む中で、新たに誕生した再開発ビル「ふくまちブロック」や「くるふ福井駅」をはじめ、恐竜モニュメントの設置などで大きく変貌し、観光客の集客数も大幅に増えてきていることから、にぎわいの創出が大いに期待されているところである。

一方で、福井市においても少子高齢化の波は避けることができず、年少人口は減少し続け、2040 年には、2020 年に比べ約 9 千人減少し 7 割程度になる見込みである。

また、高齢化率は上昇し続け、2050年の高齢化率は約38%まで上昇すると見込まれている。

このような状況の中で、8050問題をはじめ、ダブルケアやヤングケアラー、ひきこもりなど、様々な相談が増えてきており、福井市では、令和4年度第4次福井市地域福祉計画を策定、その中に、重層的支援体制整備事業を進めることが明記されたことから、令和5年度より「福祉総合相談室よりそい」を設置、複合的な相談に対しても適正な支援先につなげることができるような体制の整備が進められた。

「福祉総合相談室よりそい」が設置されたことで、相談件数も、平成29年度と比較すると約1.8倍の7,186件と大幅に増え、内容についても、収入や生活費を筆頭に、ひきこもりなどが増えるなど内容も多岐にわたることから、これらの相談に対応するため、社会福祉士や精神保健福祉士、更には臨床心理士などの専門職員を配置し、相談体制の強化を図り、相談者によりそいながら、行政だけではなく地域の関係者との協働も視野に将来にわたる取り組みとして進めている。

○ 所感等

令和5年度から、重層的支援体制整備事業を実施してきているがその機能を強化するために、これまでの自立サポートセンター「よりそい」から、福祉政策課の中に、福祉総合相談室「よりそい」を設置したことで、相談件数も大幅に増えてきていることを伺った。

そのうえで、包括的相談支援事業による「他機関協議会」の名称で重層的支援会議や支援会議を実施し、相談者に適合した支援を協議しながら進めているところに、一人によりそう温かさを感じることができた。

参加支援事業では、ひきこもりや障がいをお持ちの方の相談を、就労支援コーディネーターが丁寧に聞き取りながら、農家や軽作業などができる事業所等とのマッチン

グに取り組んでおり、親なき後を見据えて、自立に向けた取り組みが進んでいることを学ぶことができた。

更には地域づくり事業として、麻生津地区の取り組みについて紹介があり、公民館を活用して地域課題の解決に向け、地域のプラットフォームづくりを支援しており、地域づくりコーディネーターが地域の話し合いにも一緒に参加する中で、地域の居場所づくりやサロンの開催などを通して、世代を超えたでの交流の場が広がり、自分たちが暮らすまちの課題や強み、また地域の将来像なども協議できる地域となったとの話に、少子高齢化が進む中でも行政と地域が力を合わせれば活気に満ちた地域づくりにつながることを実感した。

本市においても、重層的支援体制整備事業に取り組んでいるが、複合的な相談などには、まだまだ課題も多いことから、解決に向けてどのように取り組むのか考えるべきであると感じる。

また、「よりそい」という響きにやさしさを感じられることから、本市の「伴走支援センター」の名称についてもやさしさや、思いやりを感じられるような名称に変更することも必要と思う。今回学んだことを、太田市でも生かせるように努力してまいりたい。

+

福井市議会議場にて



パワーポイントによる説明

